

ランドスケープの新潮流セミナー

地域経営と ランドスケープ



ウィズ & アフターコロナにおける ランドスケープのあり方

◆ コロナ禍の人とランドスケープのあり方

12/13
(日)

10:00~12:00

ZOOM を用いた

遠隔講座

参加費無料

要申込

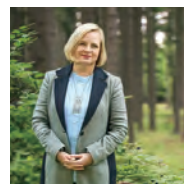
定員 100 名

講演 1

オーストラリアの経験から、パンデミックにおける都市の緑地空間のデザイン

Design of urban green spaces in the time of pandemic. Australian experience

： Maria Ignatieva (マリア・イグナチバ) 西オーストラリア大学デザイン学部 学部長・教授

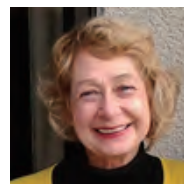


講演 2

NZにおけるコロナ禍政策と公園でのリカバリープロジェクト

Disaster policy in NZ and park management With recovery project

： Di Lucas (ダイ・ルーカス) ニュージーランド ルーカス・アソシエイツ景観設計研究所所長
ニュージーランド政府アドバイザー



講演 3

コロナ禍でわかった、身近な自然はやっぱり大切

We learned that nature around us is so important under covid-19

： Yoshihiro Sawada (澤田 佳宏) 兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科/
兵庫県立淡路景観園芸学校 准教授

◆ 総合ディスカッション

コーディネーター： Isao Nakase (中瀬 勲) 兵庫県立淡路景観園芸学校学長/兵庫県立人と自然の博物館館長

総合司会・解説： Mayumi Hayashi (林 まゆみ) 兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科/淡路景観園芸学校 特命教授

